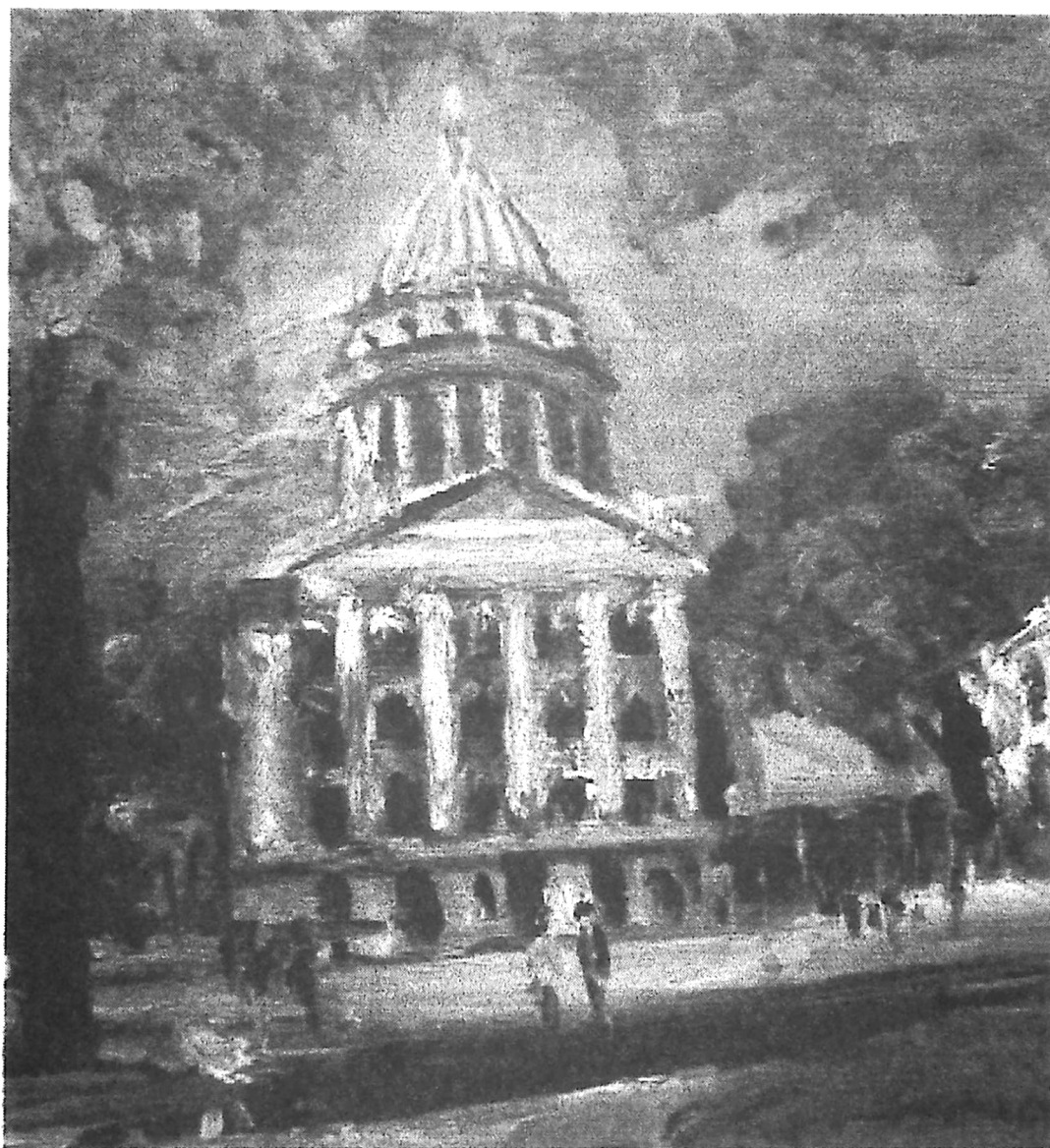


(社)日本技術士会  
近畿支部

# きんき ぶだより

No 60 号  
2001-8-10



ウインスコンシン州議事堂

表紙の説明：ワシントンの国会議事堂に類似した建物で、建物をバックに記念写真を撮影し、帰国後油彩に描いてみた。少しタッチが荒く感じられる。

赤根晴雄 (機械部門)

## 巻頭言

### 未 来 を 開 く 任 務

20世紀末に陥った我が国の停滞を打破すべく、政治、経済をはじめ、各方面に改革の要が叫ばれ、その具体策の実行が求められている。昏迷の中に問題を先送りしてきた我が国にビジョンがあるわけではない。然し確かな未来はそのための価値観を育てる事が先決である。20世紀は工業の進展により、物質文明は推進されたものの、地球環境と資源の限界によつて、大量生産、大量消費、大量廃棄の社会に歯止めをかける事が求められ、循環型社会を軌道に乗せなければ、持続可能な未来を描く事の出来ない羽目に陥った。

この問題に技術の関わる分野は限りなく大きい、技術だけで事足りるものではなく、経済、社会、ライフスタイル等、人間活動の全般にわたる改革が必要である。

21世紀の世界は単なる経済や生活優先では成り立っていない。健康で快適な暮らしが達成されればそれでよいという人間の本能的な「生命の欲望」と「自然の調和」の両面を見据えて、これらを総括する「理知」、が求められ、技術はその先導をつとめなければならないのである。

又我が国及び世界の現状はマハトマ・ガンジーの指摘する通り、原則無き政治、道徳なき商業(労働なき富、人格なき教育、人間性なき科学等が様々な社会的害毒を流している。「技術士」には将来の事、全体の事、現実と共に理想に迫り、モラノ L / ハザードの蔓延を許さず、21世紀の未来を開く任務が託されているのである。

(稲本記)

### 目 次

巻頭言:未来を開く任務	副支部長 稲本 渡(化学)	2頁
平成13年第1回支部長議報告	支部長 加藤 薫(農業)	3~4
理事就任のご挨拶	理 事 西川 昭二(電気・電子)	5
平成13年度第2回理事会報告	〃	5~6
第28回技術士全国大会報告 (創立50周年記念大会)	金岡 俊文(建設)	7~10
視聴覚機器管理委員会	赤根晴雄(機械)	11
支部会員名簿発行のお知らせ	稲本 渡 (化学)	
「ファシリテイマネジメント」について	加藤 裕造(建設)	12
繊維技術物語		
(第10話:色合わせの諸問題[その4])	谷本 義雄(繊維)	13
私の旅だより アジア・ベトナム	鎮 美香	14~15
イスラエル見聞記(その5)	稲本 渡(化学)	16~17
部会予告		18~19
編集後記・広告		20